

宝塚エネルギー2050ビジョン 概要版(案)

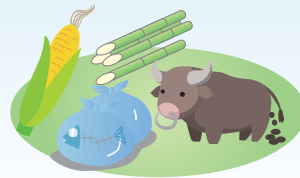
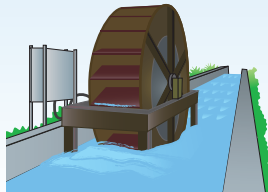
「みんなで作ろう 宝塚エネルギー」

～再生可能エネルギー・省エネルギーで たからづかを もっと ずっと げんきに～

再生可能エネルギーのビジョンを策定し、実践を進めていくと、
どのようなまちで暮らすことになるのでしょうか。

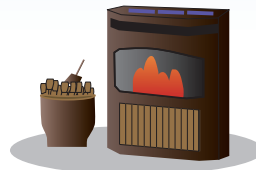
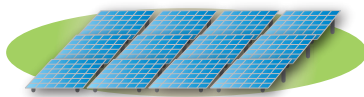
“宝塚エネルギー”のある暮らし(イメージ)

小水力発電による電
気を作っている地域
もあります。



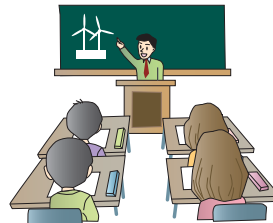
バイオマス事業は地
元の市民を中心に、
出資などの形で進め
られています。

活用されていない土
地では太陽光パネル
を設置しているところ
もあります。



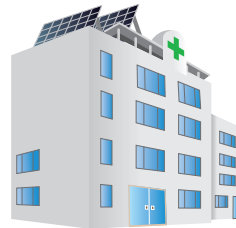
冬には木質ペレット
ストーブを暖房とし
て利用しています。

家庭では様々な再エ
ネの利用と電力の選
択が進んでいます。



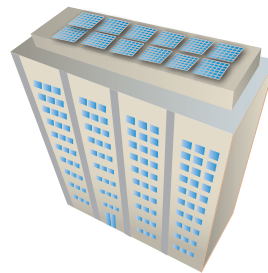
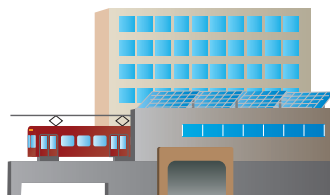
学校では環境やエネ
ルギーに関する教育
が行われています。

公園には再エネとふ
れあえる施設あり
ます。



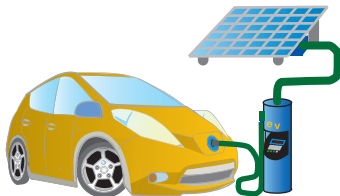
病院や福祉施設で使
用されているお湯は
太陽熱利用システム
で作られています。

駅には太陽光発電設
備がついています。



オフィスでは太陽光
発電設備が設置され
ています。

レンタカーなど、太
陽光で充電した電気
自動車を使う機会が
増えています。



バス停にも太陽光発
電設備がついていま
す。



市政マンガ広報キャラクター
「春野すみれ」

エネルギーの
プロシューマー化って
何だろう…

様々な再生可能エネルギーがいろいろな所で利用され
ていて、“宝塚エネルギー”に参加する人がどんどん増えて、
宝塚のまちがもっと、ずっと、元気になるんだね。



「たからづかキッズ」キャラクター
「春野すみれ」